

2024 年度情報処理技術遺産認定式

旭 寛治 | 歴史特別委員会 幹事

情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館の認定制度

現存する情報処理技術関連の貴重な史料に対して、その保存の努力を称えるとともに末永く後世に伝えることを目的として、情報処理学会歴史特別委員会によって設けられた制度。第1回の2008年度は国立科学博物館で、翌年からは全国大会の場で認定式を行い、情報処理技術遺産には認定証の盾を、また分散コンピュータ博物館には認定書とプレートを、それぞれ関係者に贈呈している^{1)~3)}。

全国大会2日目の3月14日の午後、大会優秀賞等の表彰式に続けて同じ枠の中で情報処理技術遺産の認定式を実施した。今年度は、分散コンピュータ博物館の認定はなかった。

□ 情報処理技術遺産

今回認定された情報処理技術遺産は次の1件である。

- SONY NEWS ワークステーション：国産初のエンジニアリング・ワークステーション。ビットマップ・ディスプレイとLAN通信を備える Xerox ALTO コンピュータの系譜に属し、十分な計算性能を持ち、また十分に購買可能な価格の機器と



▲ NWS-3860 (1991年)。CPUにRISCプロセッサであるMIPS R-3000を採用している。

◀ NWS-830 (1987年)。ビットマップ・ディスプレイとLAN通信機能を備える。

して量産に成功した。インターネット接続機能のほか、レーザープリンターや光学ディスク装置など豊富な入出力装置を備え、当時の多くの技術者に支持された。1987年、ソニー製造。

□ 私の詩と真実

例年と同様に、認定式の前の時間帯に「私の詩と真実」のセッションを開催した。これはコンピュータバイオニアの大先輩をお招きして、若い頃の研究生活の思い出や今の若い世代に伝えたい経験談などをお話いただくシンポジウムである。第70回大会から開催しており、第17回目となる今回は、津田

塾大学 数学・計算機科学研究所 特任研究員の村山優子氏と富士通 先端技術開発本部システム第一開発部 シニアアーキテクトの安里彰氏が講演された。

村山氏は「インターネット黎明期の英国留学で学んだこと」と題して、1983年から8年にわたり University College London のコンピュータサイエンス学科に留学したときの経験を中心に据えて話を

された。理系の女性をとりまく社会環境が現在とは異なっていたことに言及され、明治時代に米国に留学した津田梅子が理系だったとことにも触れつつ、自身の留学を振り返られた。留学先で学位論文を執筆する中で、何をテーマとするかという問題定義が実は最も重要であるということに気がつかれたとのことであった。留学後も科学技術振興機構の国際共同研究をはじめ、海外の経験を活かしたさまざまな国際的活動に取り組んだと話され、若い人たちに留学を勧めるメッセージで話を結ばれた。

なお、本講演はリモートで行われた。

安里氏は会社人生の前半を研究部門で、後半を開発部門で過ごされた。「スパコン開発を振り返る：『京』そして『富岳』」と題した今回の講演は、昨年NHKの「新プロジェクトX」で『京』の開発が取

り上げられ、そこに安里氏が登場されたという話から始まった。研究部門からスーパーコンピュータの開発チームに移籍された安里氏が驚いたのは、「研究」と「開発」とが大きく異なる点であったようだ。研究試作では評価に耐えるものを作ればよいが、製品開発では万一の障害に備えた回避策まで必要であること等々である。氏が裏話として披露されたのは、世界最速を実現した機械の中に「お札」が祀られていたことであった。最先端の技術と「神頼み」の対比が面白く思われた。

パンフレット「情報処理技術遺産」(写真)やWebサイト「コンピュータ博物館^{☆1}」に、認定された遺産や博物館の解説記事と写真が掲載されているので、ご覧いただきたい。



「私の詩と真実」講演者
村山優子氏 (リモート講演)



「私の詩と真実」講演者
安里彰氏



認定式の様子
SONY NEWS ワークステーション
(上) 本機を所有する一般財団法人マイコン博物館 平山智史氏
(下) ソニーで本シリーズ開発を担当された手塚宏史氏
(左) 本会会長

参考文献

- 1) 和田英一：情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式，情報処理，Vol.50, No.5, pp.369-374 (May 2009).
- 2) 旭 寛治：2022 年度分散コンピュータ博物館認定式，情報処理，Vol.64, No.6, pp.270-271 (June 2023).
- 3) 旭 寛治：2023 年度情報処理技術遺産認定式，情報処理，Vol.65, No.6, pp.322-323 (June 2024).

(2025 年 3 月 24 日受付)

☆1 <https://museum.ipsj.or.jp/>



情報処理技術遺産パンフレット



情報処理技術遺産認定証

旭 寛治 (名誉会員)
asahi@fw.ipsj.or.jp

(株)日立製作所基本ソフトウェア本部長、ストレージソリューション本部長、(株)日立テクニカルコミュニケーションズ代表取締役等を歴任。1999 年本会理事、2005 年副会長。歴史特別委員会幹事。コンピュータ博物館実行小委員会主査。本会フェロー。